

オートライト（コンライト）ユニット TATLIGHT-01 取り付け説明書

パーソナルCARパーツ

この度はオートライトユニット TATLIGHT-01 をご購入いただき誠にありがとうございます。
本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、十分に気をつけて作業を行ってください。
短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。 充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。
また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。
車種毎の配線図を車を購入されたディーラーから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご一考願います（必要な部分は、ライトスイッチ周りの配線図です）
それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

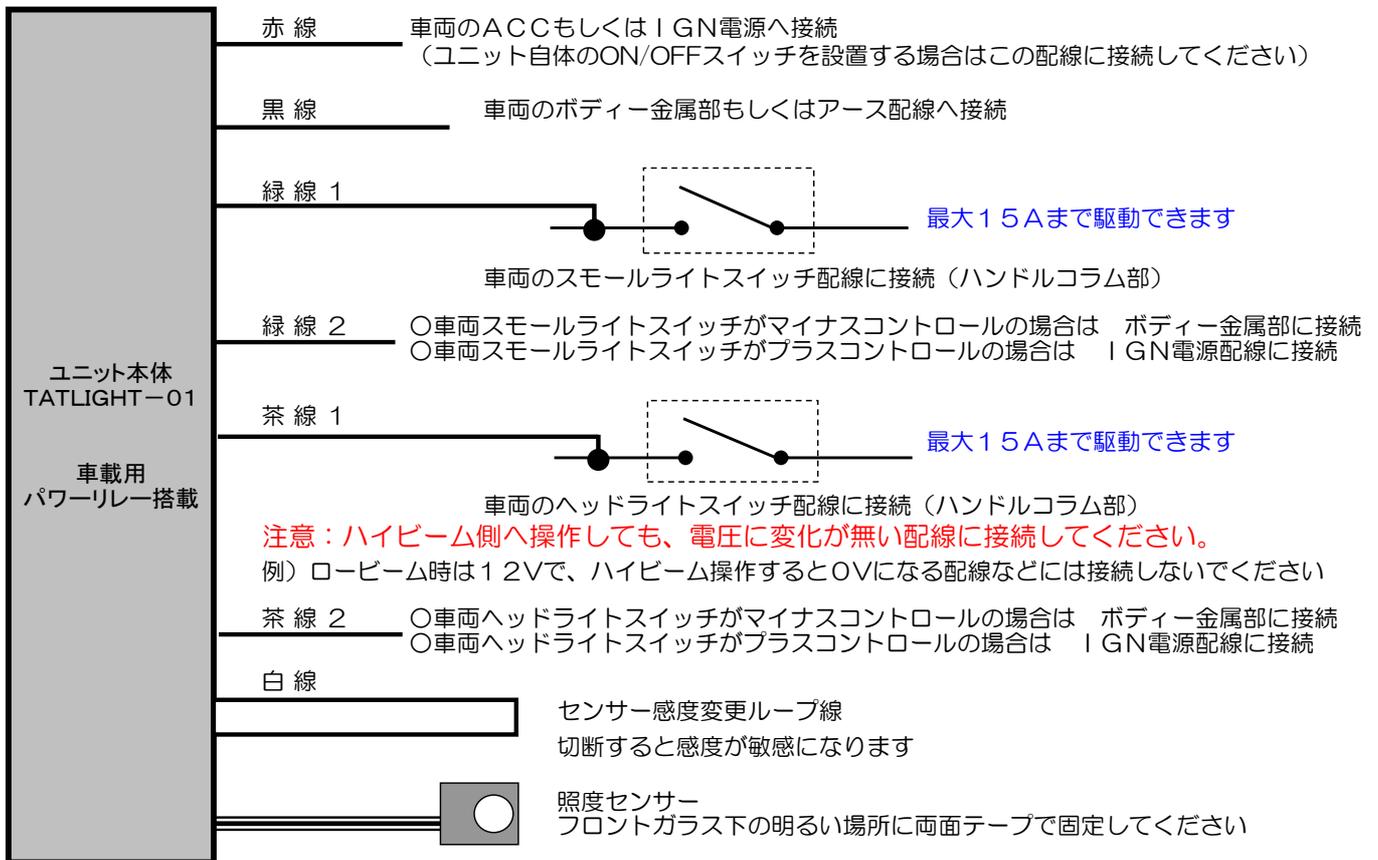
本ユニットの動作仕様は、下記のとおりとなります。

- ◎周囲の明るさをセンサーが感知し、薄暮状況でスモールランプを自動点灯し、更に暗くなるとヘッドライトを自動点灯します。周囲が明るくなるとそれぞれ自動消灯します。
- ◎センサー感度は2段階調整が可能です。
- ◎キーオフと同時にライトが自動消灯します。

※本ユニットは12V車専用です。 12V車両以外には取付けできません。

※本ユニットでのヘッドライト自動点灯時、車両レバー操作による 遠目側 が利かない車両があります。
その場合は、手動でヘッドライトを点灯状態にした後、遠目に切り替えてください。
（パッシングは別回路となっている場合が多いのでほとんどの場合、通常とおり使用できます）

配線図



注意： マイナスコントロールとはスイッチオンでボディーアースとなる状態で、
プラスコントロールとはスイッチオンで+12Vが通電となる状態をあらわします。

注意： 緑線及び茶線は10~15A程度流れる可能性がありますので、車両側への接続、
絶縁処理はしっかり確実に行ってください。

取 り 付 け 手 順

免 責 事 項

装着の着手を以って、下記事項をご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着はすべて自己責任のもとで実施願います。

2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても弊社に責は無いものとします。

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。

※作業開始前に 配線図 をよく御覧いただき、各配線の接続先について理解をお願いします。

1. 車両のスモールライトスイッチ配線をテスターで探します。

ハンドルコラムカバーを外し、ライトスイッチレバーから出ている配線をテスターで確認できる状態にします。

スモールライトスイッチをON/OFF繰り返して、電圧に変化がある配線を特定します。

スモールライトスイッチONで12Vから0Vに変化する場合は、マイナスコントロール制御、逆に0Vから12Vに

変化する場合は、プラスコントロール制御となります。

2. スモールライトスイッチ配線関係の配線を結線します。

車両スモールライトスイッチ配線に、本体ユニットから2本出ている 太い緑配線 の一方を接続します。

もう一方の 太い緑配線 は、スモールライト制御がマイナスコントロール制御の場合はボディー金属部へ、

プラスコントロール制御の場合はIGN（イグニッション）電源に接続します。

※10～15アンペア程度流れる可能性があるため、IGN電源配線は充分電流容量がある場所から分岐してください。

キーシリンダ部に配線されている太いIGN電源配線もしくは、ヒューズボックスなどから直接分岐してください。

※配線接続、ボディー金属部への接続はしっかりと確実に行ってください。

3. ヘッドライトスイッチ配線関係の配線を結線します。

車両ヘッドライトスイッチ配線に、本体ユニットから2本出ている 太い茶配線 の一方を接続します。

ヘッドライトスイッチ配線はロービーム側信号配線に結線しますが、車両によっては、

ロービーム時12Vで、ハイビーム時に0Vとなる配線が存在する場合があります。

この様な配線には絶対に接続しないでください。 ハイビーム操作でヒューズまたは装置が故障します。

ハイビーム操作時でも、電圧の変化がないロービーム信号配線に接続します。

もう一方の 太い茶配線 は、ヘッドライト制御がマイナスコントロール制御の場合はボディー金属部へ、

プラスコントロール制御の場合はIGN（イグニッション）電源に接続します。

※10～15アンペア程度流れる可能性があるため、IGN電源配線は充分電流容量がある場所から分岐してください。

キーシリンダ部に配線されている太いIGN電源配線もしくは、ヒューズボックスなどから直接分岐してください。

※配線接続、ボディー金属部への接続はしっかりと確実に行ってください。

4. 電源配線、ボディーアース配線を接続します。

ユニットの赤配線を車両ACC電源配線もしくはIGN電源配線に接続します。

ユニットの制御電源となりますので、本配線に12Vが通電しているときにユニットは作動します。

次に、ユニットの黒配線をボディー金属部またはアース配線に接続します。

5. 照度センサーを設置します。

照度センサーをフロントガラス下のダッシュボード上に両面テープで固定設置します。

センサーの丸い窓を上側にして、センサーに影がかからない場所を選んでください。

6. 動作確認をします。

キーをON位置にして、照度センサー部を手で塞ぎ、暗くします。

この状態でスモールライト、ヘッドライトが自動点灯することを確認します。

暗さの度合いで、スモールライトのみ、またはヘッドライトの同時点灯かが変わります。

また、手を離してセンサー部を明るくすると、ライトが自動消灯することを確認します。

7. 必要に応じてセンサー感度を変更します。

何日か出荷状態のまままでご使用いただいた後、センサー反応感度が鈍い（暗いのにライトが点灯しない等）

と感じられた場合、ユニットのセンサー感度変更ループ配線を切断してください。

出荷時よりも感度が敏感になります。

以上で終了です。 お疲れ様でした。